

地方分権改革推進委員会で開発局の廃止問題が議論されていますが、今、大切なのは北海道をどうするのかを地域が主体となって真剣に考えていくことでしょう。地方分権の意義は、国から与えられた政策モデルにとらわれることなく、地方における創造的な独自の地域社会システムを構築していくことです。地球環境問題に対して地域がどのように向き合うのか。北海道が率先して魅力ある政策を発信していきたい分野です。(S.K)

生活のスタイルを変えるのは、なかなか難しいこと。でも、マイバック、自転車移動、資源化ごみの持ち込み…と、やってみると意外とハマっていました。カーシェアリングが進むドイツでは、車を持たないことがステータスになっているのだとか。日本にもそんな時代が来るように、小さな実践を積み重ねていきたいと思います。(M.S)

●「マルシェ:marché」とはフランス語で市場のこと、同音の「マルシェ:marcher」には歩む、行進する、進歩するという意味もあります。北海道(ノルド:nord)が、多くの人々が集い、交流し、活気あふれる地域へ発展するようにとの願いを込めて、「開発こうほう」の地域経済レポート特集号として「マルシェノルド」(年二回、九・三月号を予定)をお送りします。地域を考えるきっかけとなるように、毎号、地域経済特有のテーマを取り上げてまいります。

●理解を深めるために……

Books

※地域事例1

『北海道遺産・摩周湖におけるエコ交通整備検討に関する調査』  
『摩周・屈斜路環境にやさしい観光交通体系構築社会実験』  
報告書

北海道運輸局、摩周屈斜路社会実験実施協議会

『Teshikaga ECOプロジェクト～北海道遺産摩周湖を中心とした環境マスタープラン』

摩周湖世界遺産登録実行委員会

『自然と共生する持続可能な観光地形成に向けて(1)一摩周湖における自動車の乗り入れ規制の実験一』

小磯修二、小笠原亜也

※地域事例2

『森林と大地と人が耀くまち しもかわ』町政要覧2008  
下川町

『地球温暖化対策実行計画 下川町CO<sub>2</sub>排出量削減計画』  
下川町

※地域事例3

『市場案内 平成19年度』  
札幌市中央卸売市場

●マルシェノルド バックナンバー

- 第1号 「地域経済の自立に向けて」(99年9月25日発行)
- 第2号 「北海道ツーリズムを考える」(00年1月25日発行)
- 第3号 「都市と商業」(00年6月25日発行)
- 第4号 「循環型社会を目指して」(00年10月25日発行)
- 第5号 「地域とアート」(01年2月25日発行)
- 第6号 「地域とIT」(01年6月25日発行)
- 第7号 「北海道の食産業を考える」(01年10月25日発行)
- 第8号 「NPOのあり方考える」(02年2月25日発行)
- 第9号 「北のものづくり」(02年8月25日発行)
- 第10号 「地域経済の自立的発展と観光産業」(03年2月25日発行)
- 第11号 「地域景観とまちづくり」(03年8月25日発行)
- 第12号 「地域と大学」(04年2月25日発行)
- 第13号 「北海道らしいエコツーリズムを考える」(04年8月25日発行)
- 第14号 「地域ブランドの時代」(05年2月23日発行)
- 第15号 「地域と医療」(05年8月25日発行)
- 第16号 「北海道発 産消協働」(06年2月25日発行)
- 第17号 「地域とスポーツ」(06年8月25日発行)
- 第18号 「地方都市の再生」(07年2月25日発行)
- 第19号 「地域と農業」(07年8月25日発行)
- 第20号 「地域と図書館」(08年2月25日発行)